

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	ポコズママの会関西
活動テーマ	流産死産経験者でつくるポコズママの会



当事者は、突然赤ちゃんを亡くす現実とママになる未来…大きな二つの喪失に心身不調に陥ります。抱え込んでいる悲嘆に対する周囲の理解も難しく、苦しみや自責が交錯した苦悩を吐露出来なくなります。孤独な心を緩める為に同じ経験をした人を探り求めてネットを検索し、経験者同士の分かち合いの場が唯一心の居場所となります。亡くした赤ちゃんの話が出来ること、自分一人じゃないと覚えることが生きる力に繋がるので、ピアサポートの場として各プログラムを企画しました。(告知方法は、HP、Facebook、Twitter、チラシ等)

ワークショップ付ポコズカフェは2部構成(1部作品製作・2部お話し会)で、クリスマス会は悲しみ深いママが孤独に涙し過ごすことがないように、仲間との触れ合いから一筋の光がさしこむことを願いました。亡くした赤ちゃんの名前をお披露目する機会が無いので、製作した作品に我が子の名前を描き入れ、声に出して、製作するうちに少しずつ笑顔が見られます。賑やかなクリスマスを孤独に過ごすより、思い切って外出し、仲間と一緒に過ごして欲しい…、個々のスキルも活かす場面があれば…とプログラムを練りました。

参加者の声「最近泣くことは減っていたのにコンサートのピアノとフルートは涙ばかりでした」「可愛いツリーを手作り、ケーキ、お話、ダンス、プレゼント交換、お花も頂いて天使ちゃんもビックリするような贅沢な一日でした」「マイナス思考に陥りがちでしたが、とても暖かい気持ちになりリラックスし楽しむ事ができ、明るい希望、一筋の光が見えた気がします」「私は職業でもあるダンスでの参加もあり踊りでお返しできることあればボランティアで協力させてください」今回は当事者以外の方から支援の挙手があったことも成果の一つです。周産期グリーフケア、社会啓蒙が広がるよう次回へ繋げたいと思います。